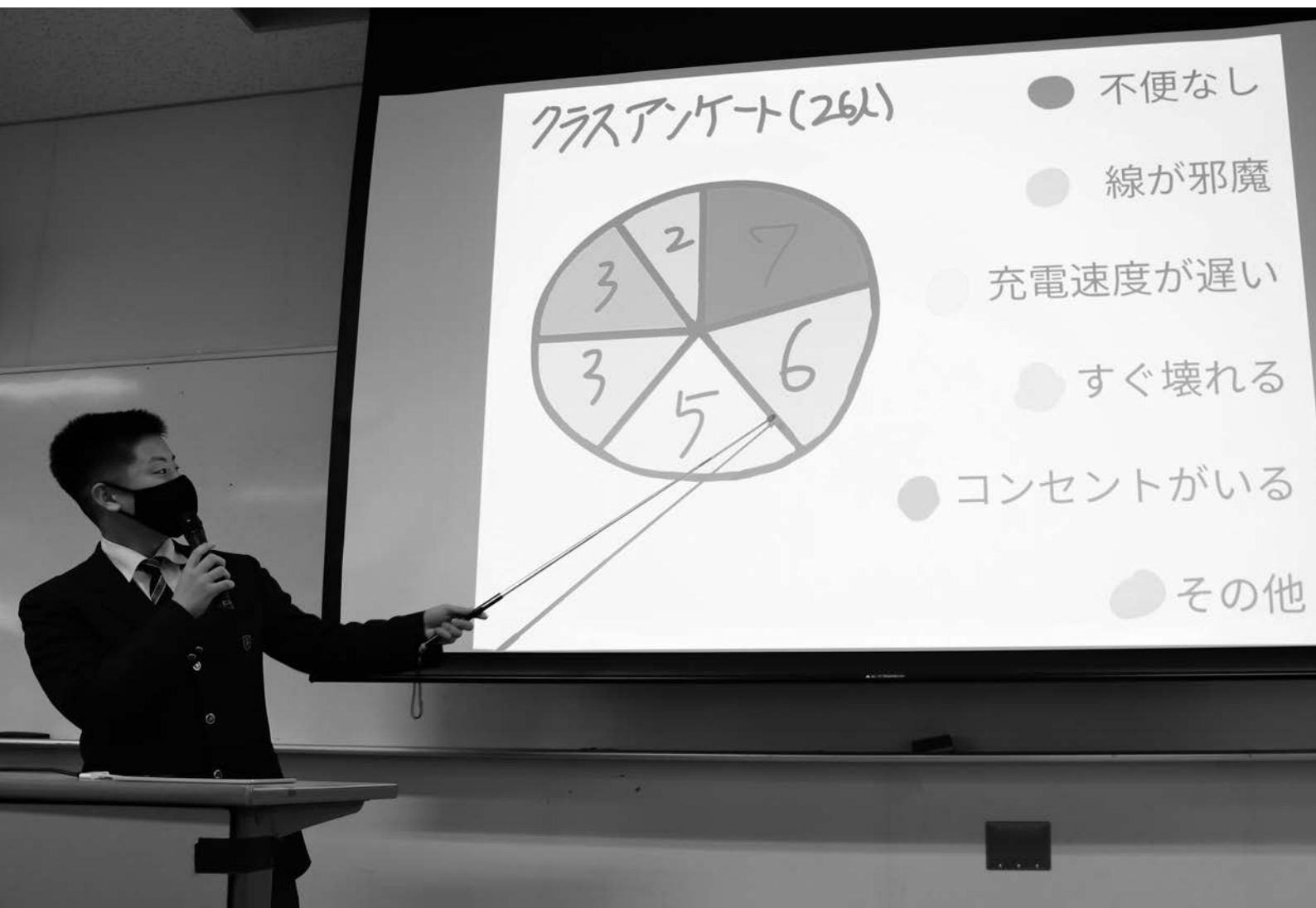


2022年度入試 資料集



常翔学園中学校

CONTENTS

❖学校・学園のご案内	P 1
❖中学校の概要	P 4
❖学習システム	P 5
❖学校生活	P 12
❖ICTを用いた授業展開	P 15
❖JOSHO+	P 16
❖JPC システム	P 18
❖志願者、入学者	P 20
❖進路実績	P 21
❖Q & A	P 23
❖通学アクセス	P 25



ごあいさつ

常翔学園中学校は、2011年に開校して今春(2021年3月)で10年が経ちました。この間、高校の国公立大学をはじめとした難関大学への進学実績の向上とともに、いち早くから取り組んでいます「将来社会で活躍するために必要な力を養う本校独自のキャリア教育プログラム」、「将来を見据えたICT教育やグローバル教育」、「大学入試改革に対応したきめ細かな進路指導」、「併設大学との連携教育」などが評価され、教育関係者などから注目されるようになってきました。学園は、2022年に創立100周年を迎えます。今回これを機に、これまで培ってきた中学での経験を活かし、高みを目指す受験生からのニーズに応えるための中学のコース改編を行うことにしました。常翔学園中学校は、今後も教育改革を進め、まだまだ大きく飛躍したいと考えています。



学校長 北尾 元一

本校は、大阪市内にあっては自然豊かな淀川の河川敷に隣接し、学園共通の恵まれた施設をはじめ、12階建て北館(高層棟)とレストランを擁する2階建て低層棟、冷暖房完備の中高専用体育館など、他では類を見ない素晴らしい教育環境が整っています。私たちが目指す教育は、単に大学進学の実績を伸ばすだけではなく、様々なことに関心を持ち、積極性の中にも思いやりがあり、人が喜ぶことに幸せを感じ、将来社会で人々のために役立ちたいと強く望む人材の育成にあります。大学進学はその過程であって、必ずや確実な成果となって表れるものと確信しています。受験生の皆さんには、二度と来ない青春の大切な時期を是非とも本校において、思う存分に謳歌してもらいたいと願っています。

時代が大きく変わろうとしている現在、常翔学園中学は、高校と連携した社会や時代が求める人材育成を実践し、受験生から強く望まれる地域有数の進学校を目指しています。皆さんの夢の実現に向けて、私たちは全力でサポートすることをお約束します。皆さんの入学を心よりお待ちしております。

本校の特色



学校法人常翔学園 建学の精神

世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。

常翔学園中学校・高等学校

<教育の理念>

「自主・自律」の精神と幅広い「職業観」を養い、目的意識を持った進学の実現により、将来、実社会で活躍できる人材を育成する。

<教育の方針>

1. 正しい判断力を持ち、自ら行動できる人を育てる。
2. 生徒と教員の信頼関係を築くことで、個々の可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮させる。
3. 生徒にとって、わかる授業・楽しい授業・ためになる授業を追求する。
4. 基礎学力の定着をはかり、進学先の専門教育に対応できる能力を育成する。
5. 就業体験、大学体験、授業などを通じて職業観を養成する。
6. 目的意識を持って進学先を主体的に選択する能力を育成する。
7. 学校行事、課外活動を通じて健全な心身と社会性を育てる。

アドミッションポリシー

<入学者受入方針>

私たちは、自ら考え行動する力と幅広い「職業観」を養うことで、将来、実社会で活躍できる人を育成したいと考えています。そのため、「将来の夢」を持ち、夢に向かって努力する生徒の入学を求めています。

<求める生徒像>

1. 「目標をもって学習したい」という人
2. 「将来、人々のために役に立ちたい」という人
3. 「世の中のさまざまなことを知りたい」という人
4. 「夢に向かってチャレンジしたい」という人

<輩出する人材>

1. 明確な目的意識をもって進学し、将来、社会に貢献できる人材
2. 確かな基礎学力を有し、進学後の専門教育に対応できる人材
3. 公正な判断力を持ち、主体的に行動できる人材

沿革

1922(大正 11) 年	関西工学専修学校を創設 《後に現在の常翔学園高等学校に発展》	1972(昭和 47) 年	男女共学制に移行
1933(昭和 8) 年	関西工業学校を開設	1984(昭和 59) 年	普通科にコース制を導入
1942(昭和 17) 年	摂南重機工業学校を開設	2001(平成 13) 年	普通科のコース改編、工業科の科改編など
1944(昭和 19) 年	摂南重機工業学校を摂南工業学校と改称 (1951(昭和 26) 年 3 月、廃止)	2003(平成 15) 年	工業科を募集停止(2005(平成 17) 年 3 月、廃止)
1948(昭和 23) 年	関西工業学校と摂南工業学校を統合し、 摂南学園高等学校を開設 機械科、電気科、建築科、土木科を設置	2008(平成 20) 年	大阪工業大学高等学校を常翔学園高等学校と改称
1949(昭和 24) 年	摂南学園高等学校に普通科を増設	2009(平成 21) 年	普通科を 4 コース制に改編
1950(昭和 25) 年	摂南学園高等学校を大阪工業大学高等学校と改称	2010(平成 22) 年	北館(12 階建て高層棟)完成
1963(昭和 38) 年	自動車科を増設	2011(平成 23) 年	常翔学園中学校開校 北館に 2 階建て低層棟を増築
		2014(平成 26) 年	中学校 1 期生が卒業、高等学校へ進学
		2015(平成 27) 年	北館低層棟の屋上に内庭グラウンド(人工芝)増設
		2017(平成 29) 年	中学校 1 期生が高等学校を卒業
		2021(令和 3) 年	東館(スポーツ施設)完成

学園の設置学校

学校法人 常翔学園



常翔学園中学校・高等学校



コース／生徒数(全学年)

[中学校]

I 類／155名(69名)

II 類／244名(72名)

[高等学校]

一貫コース / 264名(90名)

スーパーコース／136名(47名)

特進コース / 598名(203名)

薬学・医療系進学コース／132名(93名)

文理進学コース／846名(203名)

※()内は内数で女子を示す。

大阪工業大学



工 学 部／都市デザイン工学科、建築学科、機械工学科
電気電子システム工学科、電子情報システム工学科
応用化学科、環境工学科、生命工学科
ロボティクス&デザイン工学部／
ロボット工学科、システムデザイン工学科
空間デザイン学科
情 報 科 学 部／データサイエンス学科、情報知能学科、情報システム学科
情報メディア学科、ネットワークデザイン学科
知的財産学部／知的財産学科

摂南大学



法 学 部／法律学科
外国語学部／外国語学科
経 済 学 部／経済学科
経 営 学 部／経営学科、経営情報学科
理 工 学 部／生命科学科、住環境デザイン学科、建築学科
都市環境工学科、機械工学科、電気電子工学科
薬 学 部／薬学科
看 護 学 部／看護学科
農 学 部／農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科、食農ビジネス学科

広島国際大学



保健医療学部／診療放射線学科
医療技術学科(臨床工学専攻、臨床検査学専攻)
救急救命学科
総合リハビリテーション学部／
リハビリテーション学科
(理学療法学専攻、作業療法学専攻、言語聴覚療法学専攻、義肢装具学専攻)
健康スポーツ学部／健康スポーツ学科
健康科学部／心理学科、医療栄養学科、医療経営学科、医療福祉学科
(保育福祉学専攻、医療福祉学専攻、介護福祉学専攻)
看 護 学 部／看護学科
薬 学 部／薬学科

常翔啓光学園中学校・高等学校



中 学 校／特進選抜コース、未来探求コース
高 等 学 校／特進コースI類(選抜)、特進コースII類
進学コース



中学校の概要

(1) スーパーJコース、特進コース（Ⅰ類・Ⅱ類）【男女共学】〈2022年度新コース開設〉

スーパーJコース、特進コース（Ⅰ類・Ⅱ類）の2コース制を軸に生徒一人ひとりのモチベーションを高める6年間の教育を実践します。最終的には国公立大学及び難関私立大学への現役合格をめざします。

(2) 常翔スタディ・スタイル

独自の学習システムで基礎学力の定着を図るとともに、将来必要となる学力の三要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力・人間性等」）を育みます。多岐にわたる取り組みは、学ぶ意欲を駆り立て、自らを律して学ぶ姿勢を育む「常翔STEAM」へとつなげます。

(3) 常翔 STEAM

本校では、今まで取り組んできたキャリアプログラムをさらに進化させ、平時の授業・活動に加えて週2時間の総合的な学習の時間でもSTEAM教育※に取り組んでいきます。

※ STEAM教育とは、学問領域を横断して指導する枠組みのことで、科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、リベラルアーツ (Liberal Arts)、数学 (Mathematics) の5つの教育理念です。

(4) 生徒指導

生徒個々の人格を尊重し、本校生徒としての誇りと自覚を促すとともに、生徒個人が「自主・自律」の精神を高めることを目標としています。生活面では、特にしつけ指導『挨拶・掃除・身だしなみ』を合言葉に挨拶の励行、服装、頭髪、遅刻、登下校のマナーなど、全教員が一致協力して指導にあたっています。

(5) 生徒会活動

生徒会組織は、会長・副会長・書記・会計の役員、学級代表・副代表で構成されています。生徒会は、体育祭・文化祭・球技大会などの学校行事で中心的な役割を果たすだけでなく、ボランティア活動・部活動の支援など学校生活の充実や改善・向上を図る活動、各教科の学習係を担っています。

(6) ICT教育 P15をご覧ください。

教科書とノートを使った従来の教育スタイルから変化し、教師は生徒のタブレットに問題を配信、生徒が答えた解答がすぐにスクリーンに映し出されます。またタブレットを使い発表用のスライドを作成します。

(7) クラブ活動 P14をご覧ください。

本校には10の運動部・5つの文化部・3つのサークルがあり、活発な活動を行っています。

(8) JPCシステム（保護者との教育情報共有システム） P18をご覧ください。

保護者の希望を事前に把握し、学校から電話連絡を行うほか、定期テストごとの「保護者個人懇談」、年3回のさまざまな情報提供を行う「保護者会」、学校生活の様子をホームページでお伝えするなど、学校と家庭で情報を共有します。



カリキュラム一覧 (数字は週当たりのコマ数)

中学校(2021年度)

教科等	1年	2年	3年
英語	6	6	6
数学	6	6	6
国語	6	6	6
理科	4	4	4
社会	3	3	4
保健体育	3	3	3
美術	1.25	1	1
音楽	1.25	1	1
道徳	1	1	1
総合学習	2	2.5	2.5
技術家庭	2	2	1
L H R	1	1	1
合計	36.5	36.5	36.5

高等学校(2021年度、一貫コース)

コース		1年		2年				3年			
		I類	II類	I類		II類		I類		II類	
				理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系
国語	国語総合	5	5								
	現代文B			2	2	2	2	2	2	2	2
	古典B			2	2	2	2	4	4	4	4
	国語演習				3		3		3		3
地理歴史	世界史A	2	2								
	世界史B				◇3		◇3		◇3		◇3
	日本史B				◇3		◇3		◇3		◇3
	地理B			3	3	3	3	2	2	2	2
	世界史演習								△4		△4
日本史演習								△4		△4	
公民	現代社会	2	2			2	2				
	政治・経済			2	2	2	2				
数学	数学I	5	5								
	数学II			5	3	5	3		2		2
	数学III							6		6	
	数学A	3	3								
	数学B			3	2	3	2				
	数学演習							2	2	2	2
理科	物理基礎	2	2								
	物理			3		3		3		3	
	物理演習							※2		※2	
	化学基礎	2	2								
	化学			3		3		3		3	
	化学演習				3		3	※2		※2	
	生物基礎			2	2	2	2				
	生物							※4		※4	
理科演習								2		2	
保健体育	体育	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2
	保健	1	1	1	1	1	1				
芸術	音楽I	*2	*2								
	美術I	*2	*2								
外国語	コミュニケーション英語I	5	5								
	コミュニケーション英語II			4	4	4	4				
	コミュニケーション英語III							5	5	5	5
	英語表現I	2	2								
	英語表現II			2	2	2	2	3	3	3	3
	英語演習								2		2
家庭	家庭基礎			2	2	2	2				
情報	情報の科学	2	2								
探究	ガリレオプラン探究			2	2						
総合的な探究の時間		1	1			1	1	1	1	1	1
ホームルーム活動		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		38	38	39	39	38	38	38	38	38	38

注意 *印から1科目、◇印から1科目および△印から1科目を選択する。
2022年度から高等学校のカリキュラムが変更になります。

※印は物理演習と化学演習がまたは生物の一方を選択する。

5科コア・カリキュラム <2022年度 >

本校では日常の授業を通じ、より高い学習成果を得るために、学習内容やその方法についてしっかりと6年間分体系立てた「シラバス（授業計画）」のもと、6年後の大学受験に向けて、最も合理的な道のりを提供したいと考えています。その一端として、受験に重要な英・数・国・理・社の5科について、本校シラバスの中核をなす「コア・カリキュラム」をご覧ください。

以下は、「生徒の理解度をきちんと見つけながら、最善の成果を生み出す常翔スタディスタイルの核（コア）」を表す5科の表です。

◆ 英語

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th											
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd									
教科書進度	中1			中2			中3			高1			高2			高3			問題演習								
時間割上の 1週間の 時間数	週6日間+学習タイム																										
使用教材	NEW TREASURE STAGE 1 (文法問題集も)			NEW TREASURE STAGE 2 (文法問題集も)			全国高校入試 問題正解			文法教材 (参考書、問題集) 単語集			英語構文 (参考書) 英作文問題集			検定教科書			検定教科書								
	検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書			検定教科書								
留意点	NEW TREASUREと検定教科書に取り 組む事により、読解力を向上させる。 文法問題集については、英語a、英語b 両方で取り組み、理解力を高める。 常翔STEAMで後期より、英会話講座 を実施する。(クラス替え2回)			NEW TREASUREと検定教科書に取り 組む事により、読解力を向上させる。 文法問題集については、英語a、英語b 両方で取り組み、理解力を高める。 常翔STEAMで前期に英会話講座を 実施し、イングリッシュキャンプでの 表につなげる。(クラス替え2回)			全国の高校入試問題に触れることで読 解力を高める。週1回、ALTによる英 会話授業の実施。英語スピーチコンテ ストの直前にも集中英会話講座を実施 する。			C英語1のうち、1時間は前半はALTI による英会話、後半はオンライン英会話 を実施し、スピーキングやリスニング 力の向上に努める。単語や文法につい ては、小テストや終礼テストでも実施 し、全体の学力向上に努める。			C英語IIのうち、1時間は前半はオンラ イン英会話、後半はALTとの英会話を 実施し、スピーキングやリスニング力 の向上に努める。国公立大の二次試験 の復習や入試問題の過去問なども学 習台や特別補修期間中を含めて、演 習を行う。			C英語II (2) C英語II (4) =計6時間			C英語II (3) C英語II (5) 文系：英語演習 (2) =文系：10時間、理系：8時間			大学入学共通テスト対策 問題集 (リーディング、リスニング)			大学入学共通テスト対策のみにとどま らず、国公立大の二次試験対策や難関 私立大の対策にも取り組む。模擬テス トの復習や入試問題の過去問なども学 習台や特別補修期間中を含めて、演 習を行う。		
	2級 (A合格)			2級 (A合格)			2級 (A合格)			準1級			準1級			1級			1級								
英検	3級			準2級			準2級			2級			準1級			1級			準1級								
	特 進			特 進			特 進			特 進			特 進			特 進			特 進								

◆ 数学

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th											
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd									
教科書進度	中1			中2			中3			高1			高2			高3			問題演習								
時間割上の 1:週間の 時間数	週6日間+学習タイム																										
実際に扱う 教科書 時間数	6時間×23週=138 中1分野			6時間×23週=138 中2分野			6時間×24週=144 中3分野			数学Ⅰ、数学A 6時間×35週=210 高1分野			数学Ⅱ・数学B 5時間×35週=175 3時間×35週=105 高2分野			理系 高3分野 数学Ⅱ 4時間×35週=140 数学C 2時間×35週=70 文系 数学演習 4時間×35週=140 数学C 2時間×35週=70 マーク問題対策			理系 数学Ⅲ、数学C、数学演習 9時間×35週=315 マーク問題、記述対策 文系 数学演習 4時間×35週=140 マーク問題対策			理系 数学Ⅲ(4) 数学C(3) 数学演習(2)			文系 数学演習(4)		
学習事項 数学a	正の数と負の数 式の計算 1次方程式 1次不等式 1次関数			因数分解 平方根 数と式 2次方程式 関数			数と式 集合と論証 2次関数 図形と計算			方程式・式と証明 図形と方程式 軌跡と領域 三角関数 指数・対数関数 微分積分			平面上の曲線 複素数平面 写像と関数 極限 微分法 積分法			国公立大 2次対策											
学習事項 数学b	幾何学の基礎 図形の移動と拡大・縮小 面積と体積 証明 三角形と四角形 平行線と比例			チェバ・メネラウスの定理 相似 三平方の定理 円 空間図形			データの分析 場合の数と確率 図形の性質			統計的な推測 整理			ベクトル 複素数平面 演習は大学入学共通テストレベルを扱う			国公立大 2次対策											
留意点	教科書と問題集を使いながら、問題演習を増やしていく																		検定教科書を使いながら、問題演習を増やしていく			大学入学共通テストでの得点率アップ、明快な答案作成のために記述能力を高めしていく、そして合格へ					
数検	4級			3級			2級			1級			(準2級)			(準1級)											

◆ 国語

Grade	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
教科書進度	中1			中2			中3			高1			高2			高3		
時間割上の1週間の時間数	週6日間+学習タイム																	
実際に扱う教科書時間数	3時間×35週=105			3時間×70週=210						【上記の通り】			【上記の通り】			【上記の他 課外補習】 小論文対策		
文法/論述/書写授業教	文法（口語） 1時間×35週=35 国語基礎基本 1時間×35週=35 書写 0.5時間×35週=17.5 演習 0.5時間×35週=17.5			文法（古文・漢文） 1時間×35週=35 国語基礎基本・論述 1時間×35週=35 書写 0.5時間×35週=17.5 演習 0.5時間×35週=17.5			文法（古文・漢文） 1時間×35週=35 国語基礎基本・論述 1時間×35週=35 演習 0.5時間×35週=17.5			【講習補習】 実力養成問題演習			【講習補習】 志望校別入試問題演習			【講習補習】 志望校別入試問題演習		
学習事項	小説・評論・随筆基礎 韻文・古文基礎 口語文法練成 国語知識再整理 要約訓練徹底 朝テスト：教育漢字1006字完成			小説・評論・随筆実践 韻文・古文知識（和歌・短歌等） 口語文法完成～古典文法（仮名遣い～助動詞） 漢文導入（訓点～基本句形） 論述練習 解答法基礎 要約訓練徹底 朝テスト：常用漢字1945字			大学入学共通テスト及び中堅私立～関関同立即応 古文知識完成 古典文法（助詞・敬語・識別～総復習） 漢文読解・演習～実践 語彙基礎～応用徹底 解答法応用 要約訓練徹底			大学入学共通テスト～関関同立即応 古文知識完成 古典文法（助詞・敬語・識別～総復習） 漢文読解・演習～実践 語彙基礎～応用徹底 解答法応用 要約訓練徹底			首都圏私立・国公立二次即応 大学入試共通テスト・関関同立即応 古文・漢文問題演習集中語彙完成 解答法完成 要約訓練徹底 入試に出る漢字完成					
留意点	<ul style="list-style-type: none"> 授業は教科書教材を中心に読解力を養成する 演習は模試対策を兼ねる 文法、知識分野は中学受験の内容を遡及する 幹事は基礎教育の徹底を軸に朝テストで漢検対策を行う 記述力の基礎作りを行う 			<ul style="list-style-type: none"> 授業は教科書教材を中心に読解力を養成する 演習は模試対策及び解答法の習熟、論述の錬成を兼ねる 文法、知識分野は口語・古典文法/短歌・和歌などを対象とする 漢字は基礎教育の徹底を軸に朝テストで漢検対策を行う 文章検定合格のための取り組みを行う 			<ul style="list-style-type: none"> 授業は教科書から教材を抜粋し、読解力を養成する 演習は模試対策や解答法の完成、入試問題演習を行う 古典は古典文法の完成と古語、古典常識、読解演習 漢字は基礎の完成及び入試に即応した力をつける 小論文は基礎から実践に向けた取り組みを行う 小テストを活用し、語彙力、古語力の徹底習得 			<ul style="list-style-type: none"> 授業は現代文、古文、漢文の入試問題演習を中心に実施する 入試小論文の対策を行う 								
漢検	準2級			準2級			準2級			準2級			準2級			準2級		

◆ 理科

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th					
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd			
教科書進度	中1																				
時間割上の1週間の時間数	理科 (4)			理科 (4)			理科 (4)			物理基礎 (2) 化学基礎 (2) 生物基礎 (2)			理科			化学 (3) 物理または生物 (3)			理科 (4) 物理または生物 (3)		
実際に扱う教科書 時間数	4時間×35週 = 140			4時間×35週 = 140			4時間×35週 = 140			物理基礎 2時間×35週 = 70 化学基礎 2時間×35週 = 70 生物基礎 2時間×35週 = 70			理科			化学 3時間×35週 = 105 物理または生物 3時間×35週 = 105			理科演習 3時間×35週 = 105		
学習事項	身近な物理現象 大地の成り立ちと変化 身の回りの物質 いろいろな生物とその共通点 生物の体のつくりと働き			電流とその利用 気象とその変化 化学変化と原子・分子 生物の体のつくりと働き 生命の連続性			運動とエネルギー 地球と宇宙 化学変化とイオン 生命の連続性 科学技術と人間 自然と人間			教科書の内容を中心に扱い、全範囲 取り組む。			理科			教科書の内容を中心に 扱う。			教科書の内容が終わり 次第問題演習を行い、 実践力を身につける。		
留意点	教科書の内容を十分に理解させる。内容の理解を深めるために適宜、実験を行う。さらに問題演習で知識の定着を図る。物理分野・化学分野・生物分野を重視した内容で深い学習をする。また、地学分野は教科書レベルの内容で理解させる。予習よりも復習重視の勉強法で定着理解を図る。中学1年の常翔STEAMでは分野横断的な取り組みを行うことによって、物事を多面的に捉え解決する力を育む。																				
	中2			中3			高1			高2			高3								
	理科 (4)			理科 (4)			理科 (4)			物理基礎 (2) 化学基礎 (2) 生物基礎 (2)			理科			化学 (3) 物理または生物 (3)			理科 (4) 物理または生物 (3)		
	4時間×35週 = 140			4時間×35週 = 140			4時間×35週 = 140			物理基礎 2時間×35週 = 70 化学基礎 2時間×35週 = 70 生物基礎 2時間×35週 = 70			理科			化学 3時間×35週 = 105 物理または生物 3時間×35週 = 105			理科演習 3時間×35週 = 105		
	電流とその利用 気象とその変化 化学変化と原子・分子 生物の体のつくりと働き 生命の連続性			運動とエネルギー 地球と宇宙 化学変化とイオン 生命の連続性 科学技術と人間 自然と人間			教科書の内容を中心に扱い、全範囲 取り組む。			理科			教科書の内容を中心に 扱う。			教科書の内容が終わり 次第問題演習を行い、 実践力を身につける。					
	教科書の内容を十分に理解させる。内容の理解を深めるために適宜、実験を行う。さらに問題演習で知識の定着を図る。物理分野・化学分野・生物分野を重視した内容で深い学習をする。また、地学分野は教科書レベルの内容で理解させる。予習よりも復習重視の勉強法で定着理解を図る。中学1年の常翔STEAMでは分野横断的な取り組みを行うことによって、物事を多面的に捉え解決する力を育む。																				
	中1			中2			中3			高1			高2			高3					
	理科 (4)			理科 (4)			理科 (4)			物理基礎 (2) 化学基礎 (2) 生物基礎 (2)			理科			化学 (3) 物理または生物 (3)			理科 (4) 物理または生物 (3)		
	4時間×35週 = 140			4時間×35週 = 140			4時間×35週 = 140			物理基礎 2時間×35週 = 70 化学基礎 2時間×35週 = 70 生物基礎 2時間×35週 = 70			理科			化学 3時間×35週 = 105 物理または生物 3時間×35週 = 105			理科演習 3時間×35週 = 105		
	身近な物理現象 大地の成り立ちと変化 身の回りの物質 いろいろな生物とその共通点 生物の体のつくりと働き			電流とその利用 気象とその変化 化学変化と原子・分子 生物の体のつくりと働き 生命の連続性			運動とエネルギー 地球と宇宙 化学変化とイオン 生命の連続性 科学技術と人間 自然と人間			教科書の内容を中心に扱い、全範囲 取り組む。			理科			教科書の内容を中心に 扱う。			教科書の内容が終わり 次第問題演習を行い、 実践力を身につける。		
	教科書の内容を十分に理解させる。内容の理解を深めるために適宜、実験を行う。さらに問題演習で知識の定着を図る。物理分野・化学分野・生物分野を重視した内容で深い学習をする。また、地学分野は教科書レベルの内容で理解させる。予習よりも復習重視の勉強法で定着理解を図る。中学1年の常翔STEAMでは分野横断的な取り組みを行うことによって、物事を多面的に捉え解決する力を育む。																				

◆ 社会

Grade Term	1st			2nd			3rd			4th			5th			6th		
	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd	1st	2nd	3rd
教科書進度	中1			中2			中3			高1			高2			高3		
分野科目 () は単位教	地理 (3)			歴史 (3)			社会 a (歴史分野の「近現代史」と 公民分野の「経済」「国際社会」) (2) 社会 b (公民分野の「政治」) (2)			公共 (2) 歴史総合 (2)			地理総合 (2) 政治・経済 (2)			理系 公民演習 (3) または 世界史探究 (3) または 日本史探究 (3) 世界史演習 (2) または 地理探究 (3) または 公民演習 (3)		
時間割上の1週間の時間数	週3時間			週3時間			週4時間			週4時間			週4時間			理系 週3時間 文系 週8時間		
実際に扱う教科書 時間数	3時間×3.5週 =10.5			3時間×3.5週 =10.5			4時間×3.5週 =14.0			各2時間×3.5週 =7.0 合計 14.0			政治・経済 2時間×3.5週=7.0 地理総合 2時間×3.5週=7.0 合計 14.0			地理探究または 公民演習 3時間×3.5週 =10.5 世界史演習または 日本史演習 2時間×3.5週 =7.0 地理探究または 公民演習 3時間×3.5週 =10.5 合計 28.0		
学習事項	世界のさまざまな地域 日本のさまざまな地域			歴史のとらえ方と調べ方 古代までの日本 中世の日本 近世の日本 開国と近代日本の歩み			社会 a 二度の世界大戦と日本 私たちの暮らしと経済 私たちがと国際社会 社会 b 現代社会と日本と世界 私たちが現代社会 私たちが民主政治			公 共 (主権者教育を中心) 歴史総合 (近現代史)			地理総合 (地理的知識や持続可能な社会に関 わる事項) 政治・経済 (経済に関わる事項中心)			地理探究 (系統地理、地誌) または 公民演習 (政治に関わる事項中心、問題演習)		
留意点	日本や世界の諸地域の地形や気候などの自然 的条件や産業などの社会的条件を学び、各地 の人の生活や文化を理解する。 また、ハワードマップを活用した防災教育や 地図の見方などを学ぶことにより、思考力や 判断力を身につける。			日本の歴史の大きな流れを学び、わが国の伝 統と文化への理解を深める。また、諸外国の 歴史に触れることにより国際協調の意識を高 める。 さらに、高校で履修する世界史探究・日本史 探究の理解を深めるためにも諸外国との関わ りに注目しながら学習する。			高校で履修する歴史総合と公民に関連させな がら、中学生として必要な知識として民主政 治や経済のしくみについて理解を深める。 また、世の中や個人の関わりを中心に現代社 会について理解を深めさせる。さらに自ら が社会の一員としての自覚を持ち、他者へ貢 献できる力を高める。			中学校で学習した内容を深化させるととも に、大学入試を見据え、基礎的な知識や思考 力・判断力を修得する。 しかし、ただ単に「入試の知識」のみに終始 するのはなく、「実学」として社会に出た 際に必要な教養を培う。			1年次に学習した科目に関連させつつ、教科 書以上の内容を科目を横断して修得し、さら なる実力UPをめざす。また2学期後半以降 は、週道外模試対策に取り組み、目標の進 捗に向けて到達度の確認を行う。			2年次から継続して履修する科目について は、知識と探究力のさらなる修得をめざす。 また、新たに学習する科目も含め、大学入 共通テストや難関大学の入試を意識して、目 標に応じた問題演習に取り組む。		

生徒の学習面のフォロー

学習タイム

学習タイムは月曜日、水曜日、金曜日の放課後を用いて、クラスごとにメニューを決めて全員必修の補習を行います。
(中学1年生)

	月曜日	水曜日	金曜日
16:25 ~ 17:25	「スーパーJコース」 特別授業 「特進コース(I類・II類)」 学習タイム	16:00 ~ 16:50 JOSHO ⁺	「スーパーJコース」 特別授業 「特進コース(I類・II類)」 学習タイム
17:30 ~ 18:20	JOSHO ⁺	17:00 ~ 19:50 JOSHO ⁺ (F)	JOSHO ⁺
18:20 ~ 19:50	JOSHO ⁺ (F)		JOSHO ⁺ (F)

※この時間割はモデルです。定期テスト前や外部模試の直前には対策補習等になります。

■ 内容 ■

- ① 「特別授業」：スーパーJコースのみ（2年生から）。受験する模試対策や、科学探求活動を行います。
- ② 「学習タイム」：授業の補完や課題に全員で取り組みます。
- ③ 「JOSHO⁺」：全員が「JOSHO⁺」に参加します。
- ④ 「JOSHO⁺ (F)」：③のJOSHO⁺の後および火曜日、木曜日、土曜日の放課後に希望者が質問型個別指導に取り組みます。
1学期の間は担任から指名されます。終了時刻は状況により変更があり得ます。

フォローアップ補習

フォローアップ補習はJOSHO⁺と連携を取りながら、火曜日、木曜日と土曜日の放課後に行います。モーニングテストは70点、定期テストは50点という基準点を設けていますので、これらのテストで基準点に達しない生徒が対象になります。基準点に達しないままにせず、わかるまで指導します。成績の回復が認められると部活動に参加することができます。

- ①モーニングテストが複数回に渡り基準点に達しない場合はフォローアップ補習の対象となります。
- ②模擬試験の成績が基準点に達しない場合には成績の回復を優先し、フォローアップ補習に参加します。

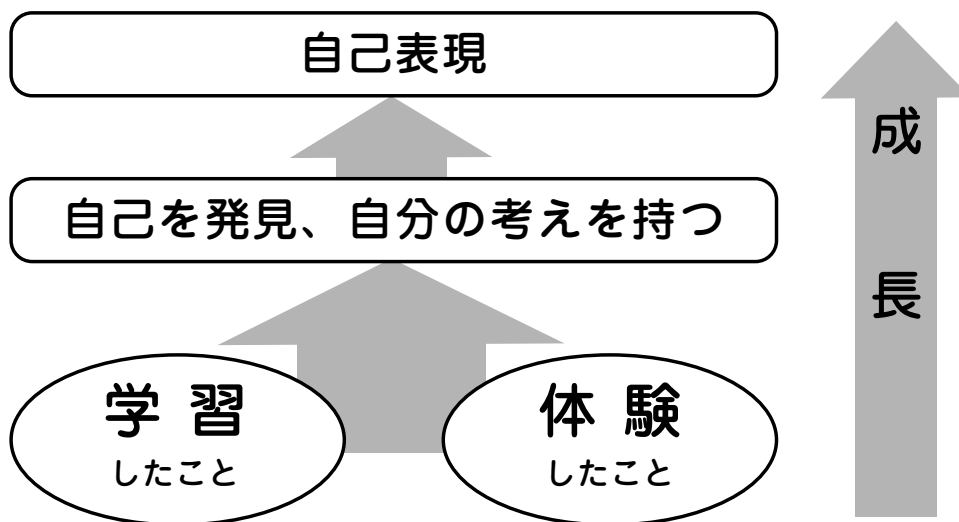
季節講習

各学期終了後の特別講習として、夏期は「サマースクール（前期・後期）」、冬期は「ウインタースクール」、春期は「スプリングスクール」を実施します。休暇中の中だるみを防ぎ、当学期の復習と次学期の予習に充てます。

学校行事について

学校生活を送る中で、学習活動、課外活動などの基本的な活動以外に、学校行事があります。学校行事は基本的な活動の幅を広げるものとして重要な意味をもつものであり、本校では学校行事を、体験・語学・自己表現（発表）の3つの視点からとらえ構成しています。

学習したこと、体験したことをもとに自己発見・自己表現できるように考えています。



体 験

日常生活ではあまり触れることのない文化や、スポーツを楽しむ行事、また大人数の中で他者との関わりを学ぶことに重きをおく行事を中心に構成しています。

新入生オリエンテーション、球技大会、校外学習、芸能鑑賞、百人一首大会、クリスマス会、スキー実習、マラソン大会、修学旅行 など

語 学

中学校で本格的に学習する英語について、不安やとまどいを取り除いてより楽しく取り組めるように工夫された行事。会話を重視した語学体験を中心に構成。また、高校生になると希望者を対象に海外語学研修、2年生では全員が参加する海外研修旅行を予定しています。

英会話講座、イングリッシュキャンプ、英語スピーチコンテスト、英検対策講座 など

自己表現（発表）

さまざまな体験を経て得たもの、日々の活動の中で作り上げたものを発表します。

自分の考えを何らかの形として表現し、他者に伝える。さらに発表を通して、互いに共感できる能力の育成を中心に構成しています。

文化祭、体育祭、合唱祭、キャリア学習発表会、ハートグローバル など

年間行事

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で中止する場合があります。

4月	入学式 新入生オリエンテーション合宿
5月	校外学習① ハートグローバル(2・3年)
6月	体育祭 公開授業 芸能鑑賞
7月	修学旅行(3年) サマースクール① イングリッシュキャンプ(2年)
8月	サマースクール②
9月	文化祭 キャリア学習発表会(3年)
10月	英語スピーチコンテスト(3年)
11月	校外学習② 球技大会
12月	ウインタースクール クリスマス会
1月	百人一首大会 百人一首大会常翔啓光中学校との交流戦
2月	スキー実習(1・2年) マラソン大会
3月	卒業式 合唱祭(1・2年) スプリングスクール(1・2年)

新入生オリエンテーション合宿

入学してすぐに全員が1泊2日で寝食を共にし、常翔学園中学生としてスタートするための心構えを持ち、新たな集団の中での仲間づくりを目的に実施します。

ハートグローバル

米国からハートグローバルの皆さんをお招きし、生徒と共にひとつのショーを作り上げます。様々な芸術分野で専門教育を受けたキャストがパフォーマンスだけでなく、教育にも情熱を持って、多様な年齢、文化的背景を持つ生徒達に教えます。ワークショップ内の各活動においては、生徒達同士の関わりや、芸術的創造性を引き出すことも大切にしています。

体育祭、文化祭

全校で行う数少ない行事。「京セラドーム大阪」で開催する体育祭では、中学生は常翔タイフーン・玉しいレポリューション・中学選抜チーム対抗リレーなどの競技に出場して競い合います。文化祭では、各クラスだけでなく部活動での発表・展示もあり、毎年多くのご家族の方々にご参加いただく、大変人気の行事になっています。

イングリッシュキャンプ

ネイティブ講師と一緒に過ごす1泊2日の校外での行事。滞在中は先生たちと英語だけのコミュニケーション。起きてから寝るまで24時間英語づけの日程は、いろいろなアクティビティを交えながら教室の外でも学習を実践でき、英語をいつもと違う視点でとらえて学びます。

修学旅行

3泊4日、沖縄本島で行う3年生最大の行事です。地元の方から戦場となった痛ましい歴史を直接うかがう平和学習、文化体験、南国の自然を満喫できるアクティビティなど、思い出の残る貴重な体験をすることができます。

英語スピーチコンテスト

3年生全員を対象に実施し、自分自身の考えを英語で発表します。語学力の向上と自己表現力の育成を目的としています。

クリスマス会

本校のレストランを利用して行う全学年合同の行事。音楽系クラブ団体による演奏・合唱やクイズ大会で会場の雰囲気盛り上げ、その年を締めくくる行事として定着しています。

クラブ活動

部活動の目的

中学校でのクラブ活動は、健全な心身の育成、社会性や豊かな人間性を育てることを目的としています。本校は国公立・難関私立大学への進学を目指すため学習時間も長くとしています。しかし、学習一辺倒では豊かな人間性も育ちにくいと考えています。生徒たちの気分転換や好奇心の育成、体力作り、学年の縦の繋がりなど、クラブ活動で得られるものは大きいと思います。クラブ活動への参加は強制ではありませんが、多くの生徒が参加することを希望しています。

設置クラブ

運動部／陸上競技・水泳・卓球・剣道・ラグビー・サッカー（男子）・柔道・空手道・ソフトボール・ダンス

文化部／吹奏楽・情報技術研究・合唱・科学・ライフデザイン

サークル／野外活動・美術・放送

活動内容

高校の運動部には全国大会に毎年出場するような強豪クラブがありますが、中学校のクラブ活動とは目的が異なりますので、基本的に高校とは別の活動を行います。なお、文化部を中心に中学生と高校生が一緒に活動する場合もあります。

- ・学習とクラブ活動を両立させるため、活動は週3回（火、木、土）の放課後に行い、平日は18：00に終了し、18：30には完全下校とし、土曜日は16：00に終了、16：30には完全下校としています。
- ・基本的に早朝練習や日曜・祝日の練習、合宿は実施しません。また、長期休暇中についても、週3日の範囲内で活動し時間は半日までとします。
- ・定期テスト1週間前からはクラブ活動停止期間とし、学習に集中します。
- ・成績の低下や基準点に達しない場合には成績の回復を優先し、フォローアップ補習に参加します。成績の回復が認められると、クラブ活動に参加することができます。

自転車通学について

(1) 許可条件

次の①～④全てを満たしている場合、許可しています。

- ①徒歩20分（約2 km）以上、自転車で（高校：40分・約10km、中学：30分・約8 km）以内の範囲であること。※台数に余裕がある場合は許可される年もあります。
- ②自転車保険（生徒総合補償制度・他社）に入っていること（保険証書のコピーを提出してください）。
- ③盗難防止の為、2つ以上の鍵（チェーン式を含め）をつけ、使用すること。
- ④交通ルール・マナーを守り、安全運転に心がけること。

(2) 自転車通学の割合

全中学生の自転車通学の割合は約3割となっています。



ICTを用いた授業展開

本校は、2017年度からiPadを利用したICT教育を本格的にスタート。教室・図書館・レストランなど校内全館をWi-Fi化し、正課の授業だけでなく放課後の学習にも利用しています。Wi-Fi環境があれば、校外でも便利に使用することができます。ICT教育の利点を生かし、今まではできなかった新しいやり方で効果的・効率的な学習に取り組み、「知識・理解」「関心・意欲」の向上をめざします。

端末



[iPadの仕様等(2021年度)]

- ・デバイス/iPad 128Gモデル
- ・付属品/ヘッドセット、保護フィルム
- ・保証/3年間保証で、通常の故障は無償で修理。破損・水濡れは、免責金2,200円(税込)で最大2回まで修理が可能。(盗難・全損の場合は保証対象外)
- ・価格/本体(保護フィルム付)66,000円(税込)

[アプリ(2021年度、iPadにインストール)]

- ・ロイロノート・スクール(クラウド版)
- ・Classi(クラウド版)
- ・その他のアプリ

※アプリは、iPadとは別に費用がかかります。

管理、ルールやマナー

- ①iPadはMDM(Mobile Device Manager)によって管理。アプリのインストールなど全てを本校で行い、SNSやゲームなどのアプリを自分でインストールできない仕組みとしています。
- ②SNSの利用や知的財産権(著作権や肖像権)について知識や理解を深める機会を多く設け、iPadやスマートフォンを適切に使用するように指導しています。
- ③iPadは登校後、ホームルームの保管庫に入れ、授業前に取り出して使用します。
- ④充電は、必ずご家庭で行っていただきます。校内で充電することはできません。
- ⑤ご家庭でも利用できるようにインターネット環境の整備をお願いします。

取り組みのご紹介

・授業では、ロイロノートスクールを中心に授業が行われています。生徒たちが能動的な学習に取り組めるように工夫した授業を心掛けています。教員と生徒との相互通信を利用した学習により、プリントデータだけでなく、写真、動画ファイルなど授業を進行するために多く使われています。それ以外にも多くのアプリを利用し各教科で授業を行っております。

授業の風景

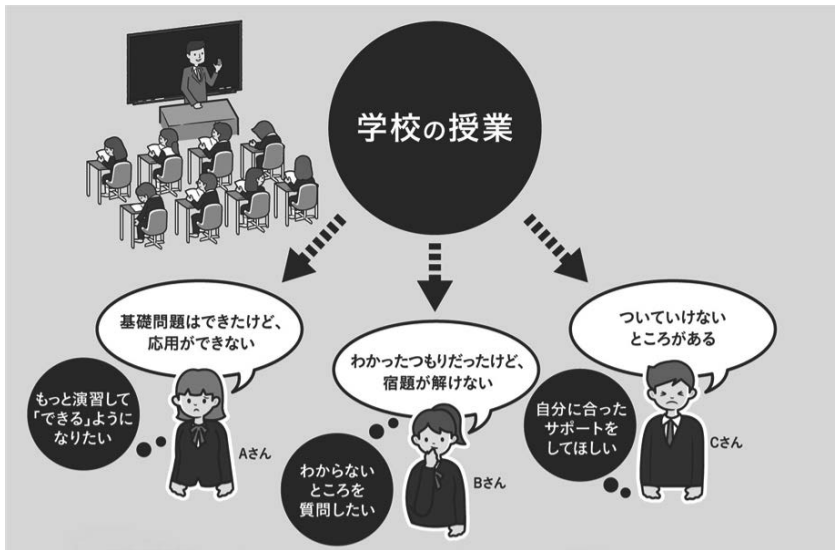


全てをプラスに。さあ、はじめよう

JOSHO+

JOSHO+とは、放課後に実施する自律的学習者を育成する学習サポートシステムです。自律的学習者とは「自分の取り組むべき課題が分かる」「課題解決に向けた計画を立てられる」「計画に沿って勉強できる」「計画通り進んだか、目標に達したか振り返ることができる」これらを備えた生徒です。

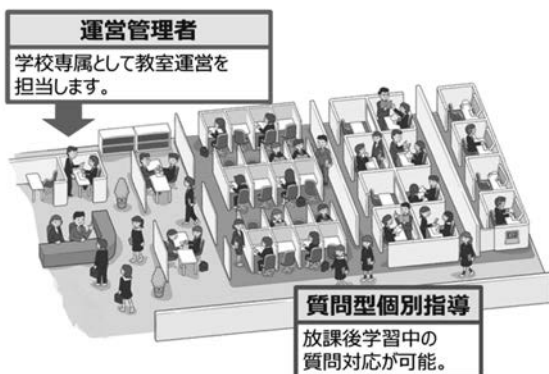
中学1年生は学習習慣を早い段階で身につけるために、全員参加となります。



JOSHO+ で解決!

【実施イメージ】

レストラン



選択教室

(図書館 横の教室)

- AI教材"atama+"
「atama+」というAI (人工知能)を活用。
※質問型個別指導で活用
- カリキュラム型個別指導
志望校からの個人別逆算カリキュラムで、完全1対1の指導。

【利用時間】

平日：16:00～19:50

土曜：13:30～19:20

テスト期間、休み期間も開室します。

(日・祝・学校休業日除く)

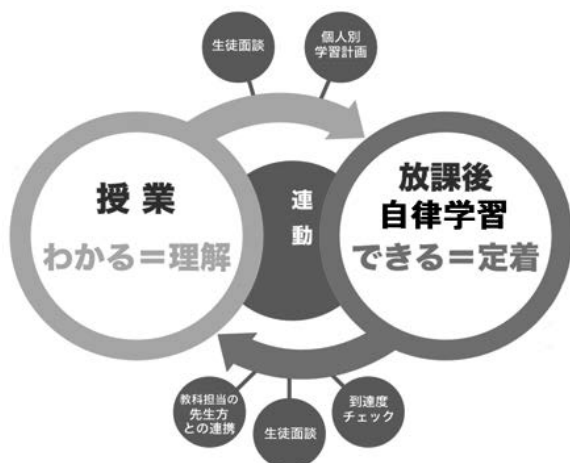
※時間は変更になることがあります

※学校を急遽休業せざるを得ない場合は、オンラインでの対応が可能です。

【JOSHO+のサポートメニュー】

○質問型個別指導

申し込み後に面談を行い、本人の学習計画作成をサポート。開始後は学習の進捗状況をチェックしながら面談で学習のコーチングや困りごとについてフォローします。学校の教材を中心に進め、日々の学習が学校内で完結し、効率的に学習を進めることができます。また、サポートされた経験を基に次は自分で学習計画が立てられるよう、自律的学習を促します。



・質問型個別指導のメリット

- P: 放課後の時間割で勉強時間の確保
 - D: わからないところは質問が可能(1回10分程度)
 - C: テストで理解度をチェック
 - A: カウンセリングで次回の目標を設定
- IDを用いて学習時間も管理
AI教材 atama+を用いた学習も可能

atama+とは？

AI(人工知能)が「わからない」原因を特定し、理解不十分な箇所を明確にした上で最適な学習ルートを作成。生徒の学習レベルに合わせた講義動画や、演習問題をオーダーメイドで作成することで「超個別指導」を実現します。さらに、atama+コーチが生徒の実施状況をリアルタイムで確認し、最適な声掛けを実施します。

(※atama+はスクールTOMASによる提供)

○カリキュラム型個別指導

苦手分野に特化した対策や受験対策、学校授業の復習など本人、保護者の要望に合わせてカリキュラムを作成。内容に応じて担任や教科担当と打ち合わせを行いながら生徒1人、講師1人のマンツーマンで指導します。
※カリキュラム型個別指導を受講する場合は、別途費用が掛かります。

・カリキュラム型個別指導のメリット

- P: 目標設定(入試対策・弱点克服・学力向上)
- D: 授業で課題解決
- C: 理解度の確認
- A: カウンセリングで次回の目標を設定

「JOSHO+」は、有料の取り組みとなりますが、中学1年生は全員参加です(月額8,000円<税別>:2021年度実績)。中学2年生以降については、希望者のみ参加となります(月額13,000円<税別>:2021年度実績)。

JPCシステムとは

本校では、JPC（Josho Parent Communication）システムという保護者との教育情報共有システムを整備しています。学校からの連絡に対しては「ドキッ」とされていたことが多かったのではないのでしょうか。「何か悪いことをした?」「点数が非常に悪かった?」等の連絡が多かったらと思います。また、学年・クラスや担任によって、対応がまちまちという問題も経験されたことがあるのではないのでしょうか。

本校では、学園の経営理念である「四位一体」（生徒・保護者・卒業生・教職員）の精神のもと、「保護者サービスの継続性・定期性・一貫性」を実現するべく、保護者と教員間のコミュニケーションを積極的に行っています。本校では学校全体で保護者対応の仕組みを統一し、もれなく生徒の状況をご家庭に伝え、また生徒個々に応じた家庭学習に関する適切なアドバイスを行います。

① 定期連絡

保護者個人懇談等を含めて月に一回程度、保護者の方とお話しし、学校での様子を詳しくお伝えします。問題だけではなく、良かったこともお伝えし、一方でご家庭での学習状況・ご相談をおうかがいします。

また、その時のお話は生徒ごとの連絡カルテを作成し、日々の指導や懇談用の資料として活用しています。電話連絡時には生徒達がつける「Classiのデータ」「連絡カルテ」「定期テストおよび外部模試成績資料」を参照しながらお話しします。

※定期電話連絡については学年が上がるに従い頻度を変更することもあります。

スターティングカルテ

入学手続き類と一緒にスターティングカルテをお渡しし、電話連絡の頻度と時間帯を指定いただきます。これにより保護者のニーズに基づいた定期連絡を組み立てます。JPCシステムを実施していく上で、電話連絡をどのような頻度でいつ行うかなど、ご希望を記入いただきます。

JPC システム スターティング・カルテ

1年()組()番 生徒氏名 _____
保護者氏名 _____

連絡方法をご指定ください ※[]に○を付けてください。

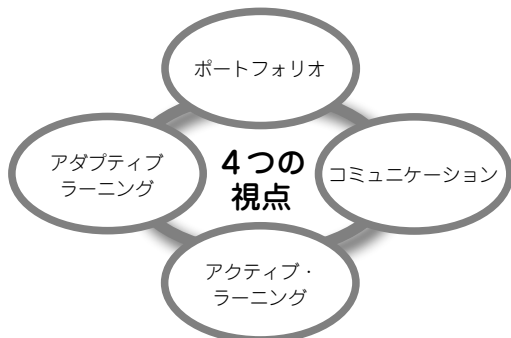
(最終時間：月～金 18:30まで 土 15:30まで お願いします)

備考欄

※ 修正のご希望は担任までご連絡ください

※ 学校の電話番号は3年間(06-4300-6885)です。この番号をお控え下さい。

② クラッシー (Classi)



学校に関わる様々な課題を4つの視点でサポートします。授業や指導方法の多様化に合わせて、様々な機能で生徒・保護者をサポート。機能の数だけ活用方法は様々です。

また、Classiは単なる学習ツールではありません。生徒自ら学習に向かわせるためのコンテンツを用意し、自学自習力を養成・サポートします。

そのほか学校内外において、コミュニケーションや情報共有は重要なものの1つです。保護者・教員間のより円滑なコミュニケーションツールとして活用いただけます。

③ 保護者個人懇談

定期テストから1週間後、3日間の午後を利用し、成績返却を兼ねて、保護者個人懇談を行います（一人20分程度）。ご都合がつかない場合は、生徒本人とテスト結果について生徒面談を行い、ご家庭に結果を報告します。懇談時には「定期テストおよび外部模試成績資料」「連絡カルテ」「クラッシーのデータ」を参照の上、お話します。経過目標に達していない場合のリメディアル案（追いつき案）など、生徒の成績に個々に向き合います。

④ 保護者会

バリエーションに富む情報提供型保護者会を実施します。節目節目で「外部模試結果報告」をもとに行事のご案内と報告、「大学受験に向けてのガイダンス」「家庭教育に関するアドバイス」「教育界でのニュース&トピックス」を取り混ぜて、バラエティ豊かな情報提供を行います。1年次の予定は以下のとおりです。

実施予定月	内 容
6月	中間テストの結果報告と本校成績表の見方、ベネッセ学力調査①結果報告、学習進度状況 全体講演「3年間の取組みについて」
12月	2学期成績一般、進級・転類について、ベネッセ学力調査②報告、スキー実習説明 全体講演「家庭で親ができること」－（外部講師を予定）
3月	1年の振り返り、学習目標達成状況、次年度の予定とその準備について 全体講演「1年間のまとめ」

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で中止する場合があります。

⑤ ホームページによる NEWS

本校のホームページに掲出しています。行事などの様子を写真を添えてお伝えし、中学教頭を中心に担任たちもメッセージを発信します。学校の雰囲気を感じていただけたらと思います。

⑥ 保護者向け携帯連絡網サービス

本校では、携帯電話を利用してご家庭へのメール配信を行っています。生徒の登下校の確認のほか、本校からのご連絡や行事などのご案内を保護者の皆様へお伝えし、生徒一人ひとりをしっかりと見守る体制を整えています。

⑦ 登下校情報配信システム（ミマモルメ）

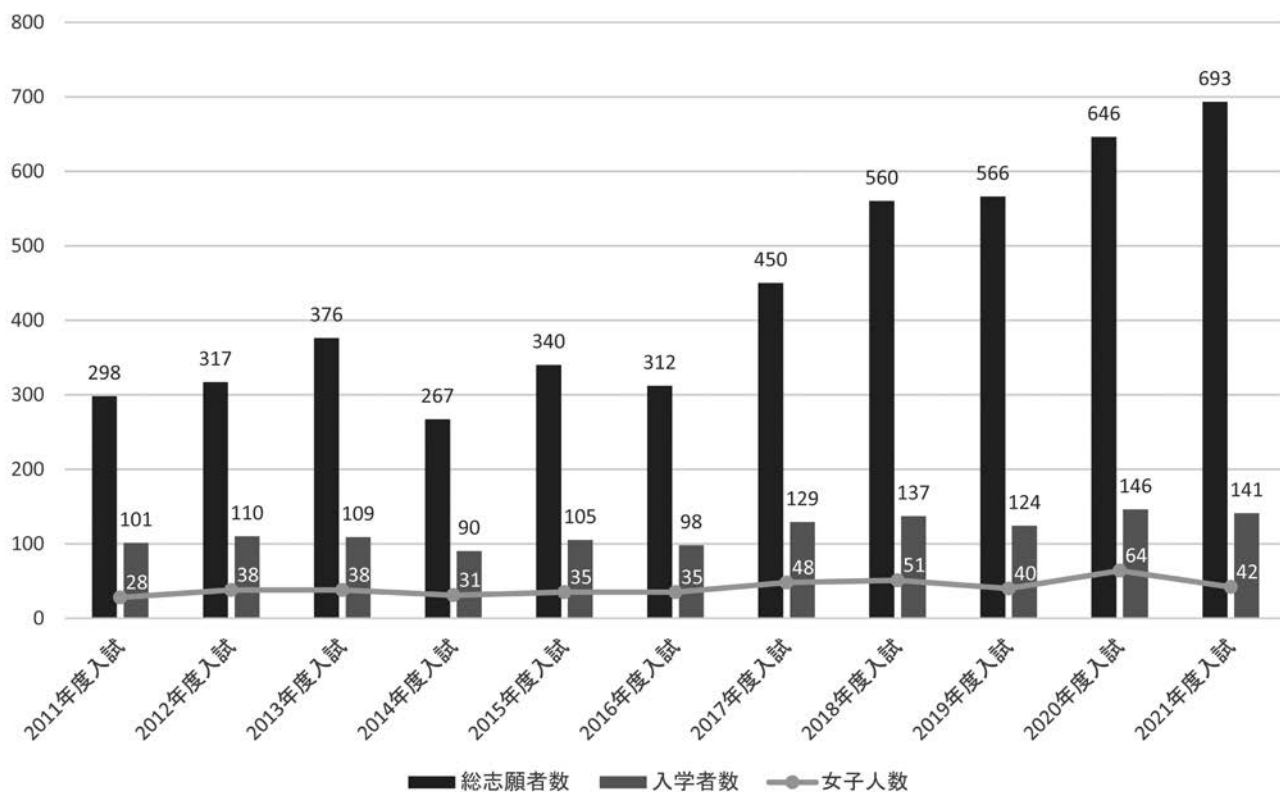
本校では、保護者への情報提供サービスの一環として、登下校情報配信システムを導入しています。このシステムは、生徒がICタグを通学カバン等に入れているだけで、学校の校門（正門・通用門）を通過すると、登録いただいているメールアドレスに校門通過情報をお知らせします。



志願者、入学者

① 志願者数・入学者数の推移

- ・志願者数はこの10年で2.3倍に
- ・全ての日程における志願者数過去最高を更新
- ・2020年度は募集人数約105名に対して入学者数は141名



② 在籍者数について

2021年度	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	一貫コース(計)
在籍数	141	143	115	100	99	65	663
女子数	42	63	36	36	34	20	231

③ 通学地域について

2021年度	大阪市	守口市	北摂地域	尼崎市	門真市	東大阪市	寝屋川市	枚方市	その他	合計
人数	202	42	31	25	23	21	21	13	21	399

① 国公立・関関同立 合格者数の推移（現役のみ）

	2017年度入試 (1期生)	2018年度入試 (2期生)	2019年度入試 (3期生)	2020年度入試 (4期生)	2021年度入試 (5期生)
卒業生数	83	85	82	63	69
国公立	11(13.3%)	32(37.6%)	39(47.6%)	22(34.9%)	23(33.3%)
関関同立	32(38.6%)	76(89.4%)	56(68.3%)	55(87.3%)	29(49.2%)

※（ ）の数値は卒業生に対する割合

② 3ヶ年 合格校詳細（国公立大学・大学校）

大学名	2019年度入試	2020年度入試	2021年度入試	合計
京都大学	1		1	2
大阪大学	3	1	1	5
神戸大学		2		2
東北大学			1	1
京都工芸繊維大学	1			1
大阪教育大学	3			3
奈良教育大学	1	1		2
滋賀大学	2			2
和歌山大学	2		1	3
電気通信大学	1			1
富山大学	1			1
岡山大学			1	1
広島大学	2 (1)			0
鳥取大学		2		2
島根大学	1			1
山口大学	2		2	4
徳島大学	2	1	2	5
鳴門教育大学		1		1
大分大学		1		1
琉球大学	2			2
北見工業大学		1	2	3
大阪市立大学	1 (1)	2		2
大阪府立大学	1		5	6
福知山公立大学	1			1
奈良県立大学	1			1
首都大学東京 (改め東京都立大学)	1			1
岩手県立大学		1		1
公立鳥取環境大学			1	1
高知工科大学			1	1
公立諏訪東京理科大学			1	1
山口東京理科大学		1		1
防衛大学校	10	8	4	22
合計	36	22	23	81

※（ ）は医学部医学科の数

③ 3ヶ年 合格校詳細（私立大学）

大学名	2019年度入試	2020年度入試	2021年度入試	合計
大阪工業大学	32	17	29	78
摂南大学	63	41	139	243
広島国際大学	1	4	1	6
関西大学	28	19	11	58
関西学院大学	6	6	2	14
同志社大学	10	16	10	36
立命館大学	13	14	6	33
京都産業大学	7	9	5	21
近畿大学	33	26	15	74
甲南大学		1		1
龍谷大学	17	7	14	38
大阪医科薬科大学	3		1	4
関西外国語大学	1		4	5
桃山学院大学	1	4		5
桃山学院教育大学			3	3
阪南大学	1	4	11	16
大阪歯科大学			1	1
大阪産業大学	18	3	3	24
追手門学院大学	1			1
大阪経済大学	2	1	1	4
大阪電気通信大学	3	2	4	9
大阪大谷大学	2			2
大阪学院大学	6			6
大阪芸術大学	1			1
大阪成蹊大学			2	2
関西医科大学	1 (1)	1	1	2
梅花女子大学		4	6	10
大阪樟蔭女子大学		1		1
藍野大学		1		1
大和大学		22	13	35
甲南女子大学			5	5
神戸学院大学		2	7	9
武庫川女子大学	3	4	3	10
神戸薬科大学	2		2	4
神戸女子大学			6	6
神戸女学院大学		1		1
神戸芸術工科大学			1	1
兵庫医療大学	1			1
京都薬科大学	1	1		2
同志社女子大学		1	1	2
大谷大学			1	1
京都女子大学	2	1	3	6
京都橘大学		1	1	2
佛教大学	8		1	9
京都先端科学大学		3	2	5
京都美術工芸大学			1	1
京都芸術大学 (京都造形芸術大学)		1	1	2
畿央大学		2		2
奈良大学		1		1
東京理科大学			1	1
創価大学		1		1
明治大学	1		1	2
中央大学	1			1
芝浦工業大学	10			10
多摩美術大学		1		1
中京大学			1	1
岡山理科大学	1			1
関西外国語大学短期大学部		1	2	3
大手前短期大学			1	1
合計	279	224	323	826

※()は医学部医学科の数



Q & A

【コースについて】

Q：スーパーJコースと特進コースで学習の進度は違いますか。

A：原則同じですが、取り組む問題の難易度などが異なります。

Q：コース間の入れ替えはありますか？およそ何人くらいですか？

A：年度によって異なりますが、例年4,5人程度となっています。特に制限は設けていません。

Q：コース間の入れ替え条件を教えてください。

A：本人の希望と、成績や適性を考慮して入れ替えます。

【特待制度について】

Q：特待制度とはどのようなものですか？

A：スーパーJコースの合格者のうち成績上位者を対象としています。常翔スカラシップAは入学金の全額および中学校在学中の3年間毎年50万円を給付。

常翔スカラシップBは入学金の半分および中学校在学中の3年間毎年30万円を給付となっています。

Q：特待生の人数は何人くらいですか？

A：年度によって異なりますが、10人前後です。

Q：特待制度がもらえなくなる条件はありますか？

A：2022年度からはスーパーJコースから特進コースに転コースした場合は資格を失います。

Q：特待制度は高校でも続きますか？

A：高校の特待生については、中学3年時に受ける実力確認テストや定期テスト等、総合的に考慮して再度選考し直します。

【学校生活について】

Q：スマートフォンの扱いはどのようになっていますか？

A：中学校では原則、持ってこないよう指導しています。ただし、安全確保などのために持参する必要がある場合は、朝礼時にスマホを預かり、終礼時に返却するようにしています。

Q：iPadをどのように使っていますか？

A：授業だけではなく、総合的な学習や文化祭などの行事でも利用したり、家庭学習や保護者への連絡等にも活用しています。

Q：グループワークや発表が多い学校と聞いていますが、大人しい生徒でもやっていけるのでしょうか？

A：教員のいる前でのグループワークからスタートします。様々な考え方があることを学び、自分の得意なことを見つけることのできるいい機会にもなります。1人では出来なくても仲間とならできるといった経験を一緒に重ねていきましょう。

Q：部活動について教えてください。

A：活動日は、火・木・土の3日間で合宿等は実施していません。大会等は部活動によって頻度が異なります。また、練習時間は遅くても18：00（土曜日は16：00）までとなっており、18：30（土曜日は16：30）には完全下校できるようにしています。

Q：いじめがあった場合、どのような対応をしていますか？

A：「いじめ防止基本方針」を基に、保護者と連携しながら適切な対応を行うようにしています。必要と判断した場合は、公的機関と連携します。

【成績関係について】

Q：勉強についていけない場合はどのような対応がありますか？

A：成績不振者対象の講習や放課後のフォローアップ等で対応しています。
毎朝のモーニングテストや日々のデイリーワークなどに誠実に取り組むことで学力を身に付けていきますので、日々の努力は必要です。

Q：塾に通わないと授業についていくことが難しいですか？

A：月・金放課後の学習タイムやJOSHO+の時間を利用して、宿題やテスト勉強などに取り組む時間が十分にあります。特にJOSHO+ではAI教材を用いて各自の苦手が克服できるシステムなので基本的に学校内で勉強はすべて完結するようになっています。（※学校案内P8参照）

【高校進学について】

Q：高校へ内部進学する割合はどのくらいですか？

A：年によって異なりますが、2020年度は約80%の生徒が内部進学しました。

【大学進学について】

Q：高校一貫コースから学園内大学へ内部進学について教えてください。

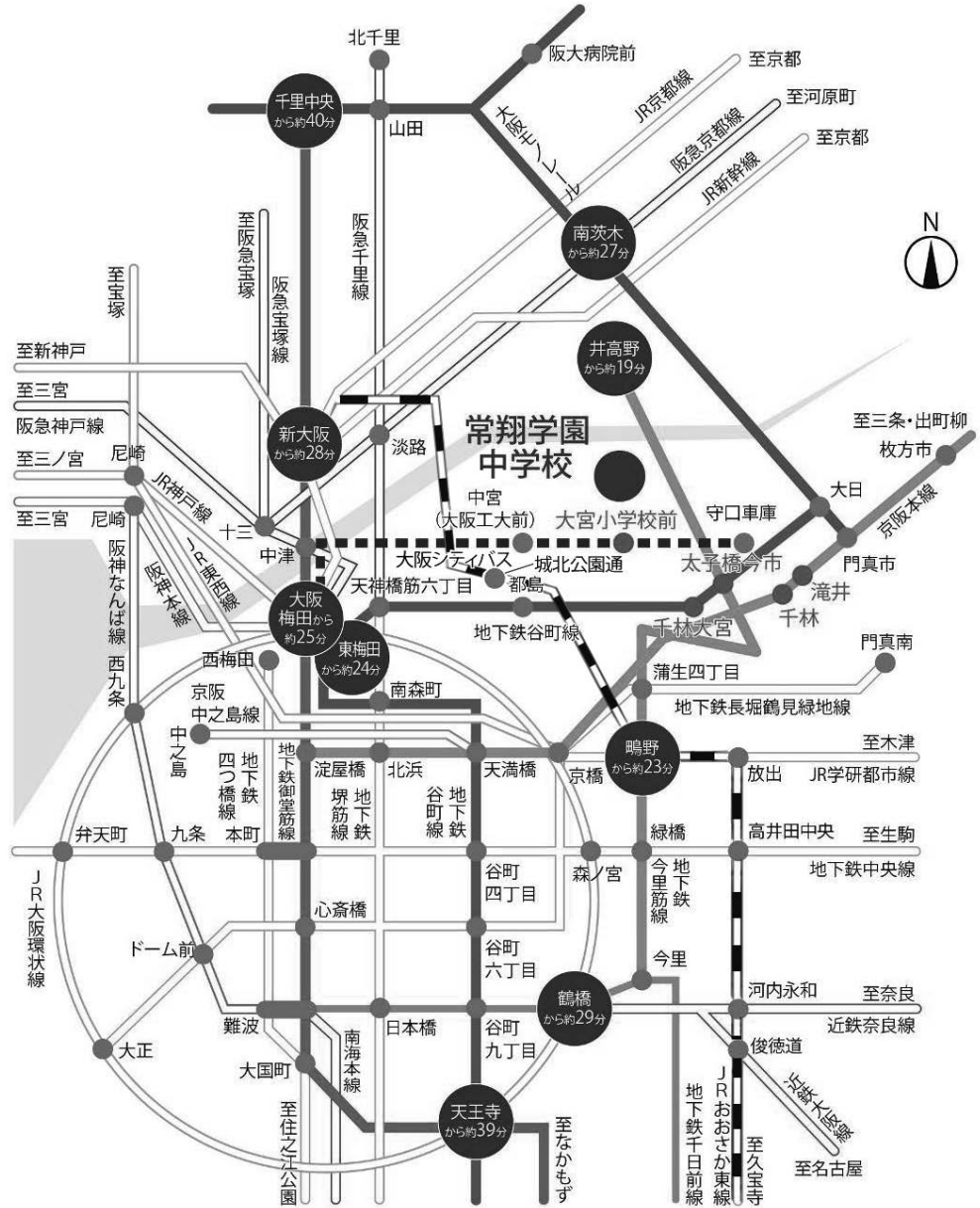
A：Ⅱ類の生徒のみ（2022年度からは特進コースⅡ類）が学園内大学への内部進学の制度を利用できます。この制度を利用するためには、欠席日数や評定等の条件を満たす必要があります。スーパーJコース、特進コースⅠ類は、最難関国立大学、難関国公立大学、難関私立大学を目標としているため制度の対象になっていません。今後、内部進学の対象については変更になることもあります。

Access Map

アクセスマップ

大阪駅から大阪シティバス最寄停留所(大宮小学校前)まで約22分。バスは2~4分に1本の頻度で運行しています。

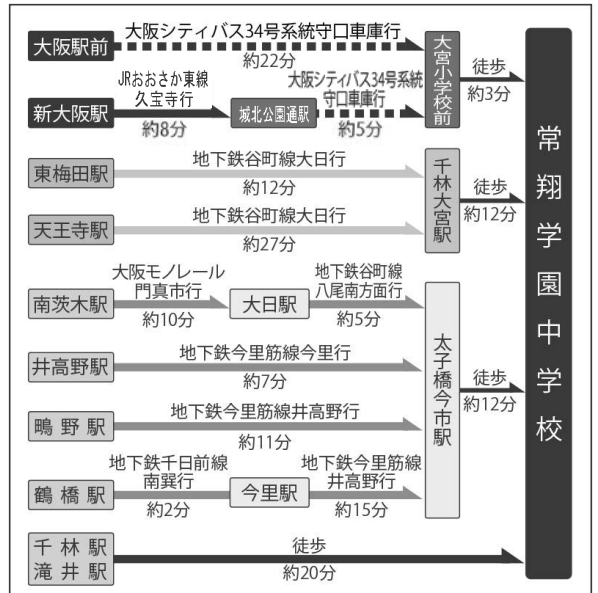
大阪メトロ御堂筋線・谷町線・今里筋線などを利用したの通学も可能です。



学校周辺MAP



- バス停「大宮小学校前」より徒歩約3分
- 京阪本線「千林駅」より徒歩約20分
- 谷町線「千林大宮駅」より徒歩約12分
- 京阪本線「滝井駅」より徒歩約20分
- 谷町線・今里筋線「太子橋今市駅」より徒歩約12分





常翔学園中学校

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番1号
<http://www.highs.josho.ac.jp/junior/>

入試に関する
お問い合わせ先

06-6954-4436

常翔学園中学校

検索